

京阪聴覚障害者センター 建設支援イベント

聞こえない人と、
聞こえる人で
映画を作りました。

日時：2025年 5月10日(土)

午前の部10:30~12:00(開場10:00~)

午後の部13:30~15:00(開場13:00~)

※午前午後共に
同じ内容の映画です

おわりなき聲

WEB申込
QRコードからも
申し込めます



参加協力券：

大人 1,000円 (当日 1,500円)

小人 (小学生まで)、なかま
500円 (当日 800円)

二本立て上映!

坂をたどって 坂をたどって

協力券の売り上げは京阪聴覚障害者
センター建設募金に寄付します

参加協力券に関するお問い合わせ先：

主催：北摂地区聴力障害者協会 (丘村彰敏) FAX 072-344-5603

北摂手話サークル連絡会 (林やよい) FAX・TEL 06-4864-1411

一般社団法人大阪手話通訳問題研究会北摂ブロック (稲豊) FAX・TEL 06-6339-0338

終わりになき聲

あらすじ

昭和40年代。

ろう者の主人公、孝生は妻の叶花と仲睦まじく生活を送っていた。当時はろう者に対する世間の偏見や無理解が大きく、親族からも理解や協力を得られているとは言い難い状態だった。

「私たちは、みんなと同じ生活をしちゃいけないのかな。」

妻の言葉と、息子の誕生をきっかけに、孝生はろう者が安心して生活できるよう活動をスタートする。

自身も生まれつきろう者である映画初監督の盛田の実体験や、県内に暮らすろう者達のエピソードから着想を得た本作は、ろう者の努力と「変化の物語」をリアルに描く。

段また段をなして

あらすじ

400年もの時をゆったりと流れる伊香保の湯。そして幾多の人々が登った伊香保の石段。一段一段登っていくと石段に刻み込まれた一節にふと目が留まった。与謝野晶子の詩「榛名山の一角に 段また段を成して・・・」。

先人たちは70年の長きに亘り石段を一段一段登っていくかのように、苦しみを乗り越え、差別や偏見とたたかってきた。連盟の歩みは正に段また段を成し、その積み重ねがあって、今の私たちがいる。

全日本ろうあ連盟結成の地、伊香保温泉での久保田明（連盟結成時に立ちあい、それから今に至るまで長年ろうあ運動に携わってきた）と終カナ（ろうあ協会に入って間もない若いろうあ者）のやり取りを軸として、ナビゲーターと当時の貴重な資料や映像を交えて、段また段を成すかのように、ろうあ運動の歴史の積み重ねを描き出す。

群馬県伊香保温泉の「ホテル木暮」に建つ「全日本聾啞連盟結成大会記念碑」を訪れた久保田明は、碑に刻まれている『手話はいのち』に思いを馳せ、ここから始まった連盟70年の歴史を終カナに語りはじめた。

会場：

島本町ふれあいセンターケリヤホール

島本町桜井三丁目4番1号

JR島本駅から徒歩約7分、
阪急水無瀬駅から徒歩約15分

会場案内



会場の詳細はQRコードをご参照ください

